様式地６（例）　面接指導結果報告書及び事後措置に係る意見書

（28.４.１改正）

**長時間労働者関係　・　高ストレス者関係**【該当するものに○】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 面接指導結果報告書 | | | | | | | |
| 対象者 | | 氏名 |  | 所属 | | |  |
| 男・女 | | | 年齢　　　　　歳 |
| 勤務の状況  （労働時間、  労働時間以外の要因） | |  | | | | | |
| 疲労の蓄積の状況  【長時間労働者のみ】 | | ０．　　　1．　　　2．　　　3．  （低）　　　　　　　　　　　（高） | | | | | |
| 心理的な負担の状況  【高ストレス者のみ】 | | （ストレスチェック結果）  A.ストレスの要因　　　　　点  B.心身の自覚症状　　　　　点  C.周囲の支援　　　　　　　点 | | | （医学的所見に関する特記事項） | | |
| その他の心身の状況 | | 0．所見なし　　1．所見あり（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |
| 面接医師判定 | 本人への指導区分  ※複数選択可 | 0．措置不要  1．要保健指導  2．要経過観察  3．要再面接（時期：　　　　　　　　　）  4．現病治療継続　又は　医療機関紹介 | | | | （その他特記事項） | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 就業上の措置に係る意見書 | | | | | |
| 就業区分 | | | 0．通常勤務　　　1．就業制限・配慮　　　2．要休業 | | |
| 就業上の措置 | 労働時間  の短縮  （考えられるものに○） | | 0．特に指示なし | | 4．変形労働時間制または裁量労働制の対象からの除外 |
| 1．時間外労働の制限　　　　　　　時間／月まで | | 5．就業の禁止（休暇・休養の指示） |
| 2．時間外労働の禁止 | | 6．その他 |
| 3．就業時間を制限  　　　時　　 分　～　　　時　　 分 | |
| 労働時間以外 の項目  （考えられるものに○を付け、措置の内容を具体的に記述） | | 主要項目 | a. 就業場所の変更　b. 作業の転換　c. 深夜業の回数の減少　d. 昼間勤務への転換　e. その他 | |
| 1） | | |
| 2） | | |
| 3） | | |
| 措置期間 | | 日・　週　・　月　　　　又は　　　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日 | | |
| 職場環境の改善に関する意見  【高ストレス者のみ】 | |  | | | |
| 医療機関への  受診配慮等 | |  | | | |
| その他  （連絡事項等） | |  | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医師の所属先 | 年　　月　　日（実施年月日） | | 印 |
|  | 医師氏名 |  |  |

※　本報告書及び意見書は、労働安全衛生規則第52条の6の規定（事業者は面接指導の結果の記録を作成し、これを５年間保存

　すること。当該記録は労働者の疲労の蓄積の状況、心身の状況、事後措置に係る医師の意見等を記入したもの）及び同規則第

　52条の18の規定（事業者は面接指導の結果の記録を作成し、これを５年間保存すること。当該記録は労働者の心理的な負担

　の状況、心身の状況、事後措置に係る医師の意見等を記入したもの）に基づく面接指導の結果の記録に該当するものです。